

家庭基礎

科・学年	CAS科 1年生	単位数	2	教科書・教材	家庭基礎（東京書籍）
------	----------	-----	---	--------	------------

1. 学習の目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てます。

2. 学習の内容

学習内容	主な学習活動
(1) 人の一生と家族・家庭及び福祉 (2) 生活の自立及び消費と環境 (3) ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人の一生を生涯発達の視点でとらえ、各ライフステージの特徴と課題について理解し、家族や家庭生活の在り方、子どもと高齢者の生活と福祉について考え、共に支え合って生活することの重要性について理解する。 ・ 自立した生活を営むために必要な衣食住、消費生活や生活における経済の計画に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し環境に配慮したライフスタイルについて考え、主体的に生活を設計する。 ・ 自己や地域の生活を見直し、生活上の課題を設定し、解決方法を考え計画を立てて実践する。

3. 担当者からのメッセージ

一人の生活者として、人の一生と家族・福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎知識と技術の習得を目指します。学んだ知識や技術を家族や地域の皆さんの生活の向上に生かすことができる人を目指していきましょう。

家庭総合

科・学年	デザイン科 1年生	単位数	2	教科書・教材	家庭総合（東京書籍）
------	-----------	-----	---	--------	------------

1. 学習の目標

人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得し、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てます。

2. 学習の内容

学習内容	主な学習活動
(1) 人の一生と家族・家庭 (2) 高齢者との関わりと福祉 (3) 生活における経済の計画と消費 (4) 生活の科学と環境 ・ 食生活の科学と文化 (5) ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人の一生を生涯発達の視点でとらえ、青年期の生き方を考え、家族・家庭の意義や家族・家庭と社会とのかかわりについて理解し、男女が協力して家庭を築くことの重要性について理解する。 ・ 高齢者の生活と福祉などについて理解し、生涯を通して共に支え合って生きることの重要性や家族及び地域や社会の果たす役割について理解する。 ・ 生活における経済の計画、消費者問題や消費者の権利と責任などについて理解し、現代の消費生活の課題について認識し、消費者として責任をもって行動する能力を身に付ける。 ・ 食生活を科学的に理解し、先人の知恵や文化に関心をもって、持続可能な社会を目指して資源や環境に配慮し、消費生活を主体的に営む力を身に付ける。 ・ 自己や地域の生活を見直し、生活上の課題を設定し、解決方法を考え計画を立てて実践する。

3. 担当者からのメッセージ

家庭科は、生活の中の課題を発見し、解決できる実践的な能力を目指すという目標があります。身近な事象に興味・関心をもって、自分で調べたり、考えたりして学習を進めていきましょう。また、学んだ知識や技術を家族や地域の皆さんの生活の向上に生かすことができるように、実験・実習にも積極的に取り組んでいこう。

家庭総合

科・学年	デザイン科 2年生	単位数	2	教科書・教材	家庭総合（東京書籍）
------	-----------	-----	---	--------	------------

1. 学習の目標

人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得し、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てます。

2. 学習の内容

学習内容	主な学習活動
(1)子どもとの関わりと福祉 (2)生活の科学と環境 ・衣生活の科学と文化 ・住生活と科学と文化 (3)生涯の生活設計 (6)ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	・子どもの生活と福祉などについて理解し、生涯を通して共に支え合って生きることの重要性や家族及び地域や社会の果たす役割について理解する。 ・衣・住生活を科学的に理解し、先人の知恵や文化に関心をもって、持続可能な社会を目指して資源や環境に配慮し、消費生活を主体的に営む力を身に付ける。 ・自己や地域の生活を見直し、生活上の課題を設定し、解決方法を考え計画を立てて実践する。

3. 担当者からのメッセージ

家庭科は、生活の中の課題を発見し、解決できる実践的な能力を目指すという目標があります。身近な事象に興味・関心をもって、自分で調べたり、考えたりして学習を進めていきましょう。また、学んだ知識や技術を家族や地域の皆さんの生活の向上に生かすことができるように、実験・実習にも積極的に取り組んでいこう。

ファッション造形基礎

科・学年	デザイン科3年選択	単位数	2	教科書・教材	ファッション造形基礎（実教出版）
------	-----------	-----	---	--------	------------------

1. 学習の目標

被服の構成、被服材料の種類や特徴など被服製作に関する知識と技術を習得する。
ファッション造形の基礎的な能力と態度を身につける。

2. 学習の内容

学習内容	主な学習活動
・被服の構成 ・被服材料 ・小物製作 ・被服製作の基本	・人体と被服、立体構成と平面構成 ・被服材料の特徴と性能、用途に応じた被服材料の選択 ・被服製作の基本（製作用具、採寸、型紙の基本、布地の性質と扱い方縫製の基礎）、作品製作、着装

3. 担当者からのメッセージ

基礎的、基本的な知識と技術の習得のみならず、個性ある作品製作を行なうとともに、小物類とのコーディネート考えた着装や装飾を工夫しよう。また、作品発表を通して、仲間の工夫や努力から学び、作品製作への意欲を高めていこう。